



おくのやすひさ
奥野泰久議員

笠岡運動公園の予算化を問う

議員 3月に予算として計上され、修正可決されたものと、同一趣旨の内容が再度予算化されている。形を変えたハードルの低い再議と考ればよいのか。

市長 再議との認識は持っていない。老朽化による事故が多発しており、安全性の確保が優先される事項の認識から再計上している。

議員 議長名の意見書の取り扱いはどうするのか。

市長 意見書をもとに全体計画を策定した。内容としては、①25メートルプールと幼児プールは長寿命化を図る②50メートルプールは転落の危険性があり、撤去する。将来的にどのように利用するにしても、更地化は必要③市民に意向調査



を行う④将来構想に基づく実施計画を行う⑤宝くじ等の補助金申請を視野に入れる。

議員 プールの問題は、当初予算でも29年度12月補正予算でも議会はこうあるべしと決着をつけた訳である。決着を付けたものを、今年当初予算でまた提案され、何度も意思決定をしている。そのことに対し、確認の意味でたずねている。

我々議会は意思決定機関であるが、その意思決定を執行する権限はない。しかし、執行する権限を持つ執行部を監視する権限がある。それを持って議会の決定した意思の万全な執行を確保するべく法はなっている。ぜひ十分理解して、今後の執行をしていただくようお願いする。



ふじいよしあき
藤井義明議員

老朽化した笠岡運動公園 早急に全体計画策定へ!

議員 笠岡運動公園は完成から40年以上が経過し、施設の老朽化、駐車場不足など問題がある。議会として本年3月に、市長あてに公園の全体計画を早急に立てるよう意見書を提出したにもかかわらず、その回答をせず、再度予算を計上（プールの撤去費用）されたことの考えをたずねる。

教育長 意見書には6月6日付で回答させていただいた。（※質問を市へ通告したのは6月4日）安全性の確保が優先される事項であるとの認識から再度予算計上した。

議員 市長は、意見書に対する回答の中で、公園の全体計画を立てたとしている。いつ作られたのか。また、どこが部署が作るのかたずねる。



教育長 議会で指摘いただいたことと、意見書の内容を踏まえ検討した。本来なら、早く示すのが当然かもしれないが、予算決算委員会で説明させていただく。計画はスポーツ推進課が中心に作成した。

議員 5月31日に、市長が議長室に來られて、「公園全体の整備計画はしない」とはっきり言われた。そうだ。答弁と食い違うが。

教育長 8月にアンケートを実施し、現実的な計画として仕上げていくことになるので、そのような発言をされたのではないかと。

議員 プール撤去の予算を出す前に、意見書に対し回答を出すのが筋では。協議していたからというのは、理由になりませんよ。